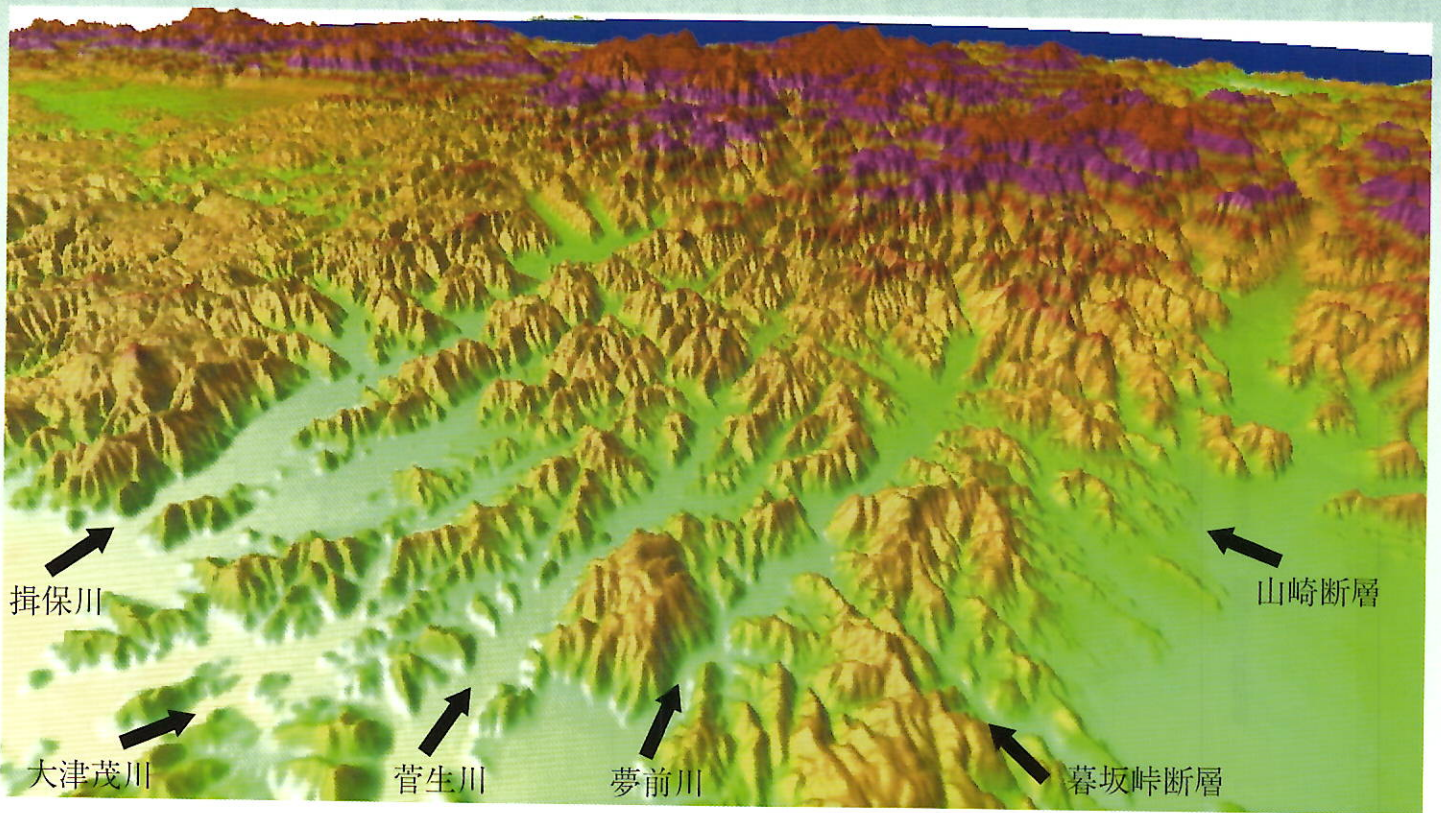


姫路市史 第一卷 上

本編 自然

監修 神戸大学名誉教授
八木 哲浩



(京都大学教授 岡田篤正 作成)

地形の誕生日を求めて

姫路史編集専門委員 田中眞吾

神戸大学名誉教授

近畿地方では地形の形成年代を決める手だてを長くもたなかった。それは近畿地方には関東地方のように、地表を火山灰が覆っているようなことがなかったため、火山灰の噴出年代から地形の形成年代を知る方法が使えなかったからである。ここ20数年になってようやく近畿でも山頂・山麓の堆積物中に火山灰を見つけたことができるようになり、山頂部や山麓の地形については年代決定の端緒が開かれてきた、しかし、低地では依然として難しかった。

加古川と明石川の間には、いなみの台地があるが、複雑な台地地形とされ、その確とした形成年代は長く不明であった。海岸沿いでは海成の段丘地形であることが一九七〇年代になってようやく知られてきた。播磨の自治体史の調査から、この海成のいなみの台地の海岸沿いの多段の段丘地形を、ユーゴの数学者ミランコヴィッチが気候変化の原因として唱えた天文学説にのっとり、2.1万年周期による海面の上昇・下降にもなって形成されたものと指摘した。これは地形の構成物中に形成年代を求めるのではなく、その形を作る侵食作用、営力の規則的な変化に着目して、その対応の下で形成される地形の形成年代を説明したものである。また、これらの海成段丘形成時の旧汀線が東に傾き上がっていることから、この台地は年々、明石で0.25mm、加古川で0.125mmずつ、傾動隆起していることが判ってきた。

一方、播磨の西部では、揖保川・千種川の中・下流では段丘地形は皆無である。また、海岸は御津町七曲がり海岸から赤穂市福浦の先まで、沈水海岸として知られている。すなわち、西播磨では大地の沈降現象が目立っている。その実態は御津町低地での岩盤に達する90mボーリングとか、赤穂のデルタ下の資料によって明らかになってきた。結果は前者で年々0.07mm、後者で0.7mmの割合で沈降していた。

姫路市史では、播磨の各地の地形の誕生日や、東高西低というわれわれの五官では捉えられない大地の動きをまとめ、明らかにした。新しい時代の播磨の大地の持つ特質を浮き彫りにすると共に、今や播磨が地形的には山上から海岸まで日本で最も形成年代のわかった地域であること語る。

既刊案内

●**第一回配本(昭和六十一年)**
◎姫路市史第十卷 史料編 近世1 A5判 九一八頁
 1 姫路藩史料I(池田・三次松平氏時代) 2 姫路藩史料II(酒井氏時代)
 3 幕府・諸藩史料 付図(別箱) 姫路城下町絵図・解説図
 額価 六、三〇〇円 送料 五〇〇円

●**第二回配本(昭和六十三年)**
◎姫路市史第十四卷 別編 姫路城 A5判 九一三頁
 1 姫路城の歴史 2 姫路城の構成 3 姫路城昭和の大修理
 4 姫路城の文学・話題 5 資料編 付図(別箱) 姫路城郭図
 額価 五、五〇〇円 送料 五〇〇円

●**第三回配本(平成元年)**

◎姫路市史第十二卷 史料編 近現代1 A5判 八四四頁
 明治前期・後期1 行政と政治 2 教育 3 産業と経済 4 社会生活と文化 5 軍事等
 付図(別箱) 姫路市街図・飾西・飾東郡全図等
 額価 六、二〇〇円 送料 五〇〇円

●**第四回配本(平成四年)**

◎姫路市史第三卷 本編 近世1 A5判 五八六頁
 幕藩体制の成り立ち 整備期 展開期それぞれの姫路
 付図(別箱) 姫路城下諸町絵図集・解説図
 額価 五、四〇〇円 送料 五〇〇円

●**第五回配本(平成四年)**

◎姫路市史第十五卷 上 別編 民俗編 A5判 七七九頁
 年中行事 祭礼 民間信仰 人生儀礼 諸職と民具 絵馬 民謡と伝説 方言等
 額価 五、三〇〇円 送料 五〇〇円

●**第六回配本(平成六年)**

◎姫路市史第十三卷 上 史料編 近現代2 A5判 九五六頁
 大正期1 行政と政治 2 産業と経済 3 軍事と教育 4 社会と文化
 昭和前期1 行政と政治 2 産業と経済 3 軍事と教育 4 社会と文化
 付図(別箱) 姫路市全図・市勢要覧(大正十三年)
 広畑都市計画・飾磨都市計画地域指定図(昭和十三年)
 額価 六、五〇〇円 送料 五〇〇円

●**第七回配本(平成七年)**

◎姫路市史第十五卷 中 別編 文化財編1 A5判 五五三頁
 彫刻 絵画 工芸 石造美術
 付図(別箱) 姫路市文化財分布地図
 額価 三、五〇〇円 送料 五〇〇円

●**第八回配本(平成八年)**

◎姫路市史第十一卷 上 史料編 近世2 A5判 八七五頁
 4 姫路町と飾万津町 5 村況の記録 参考史料 皇国地誌
 付図(別箱) 姫路城下町絵図・解説図(各四点)
 額価 六、四〇〇円 送料 五〇〇円

●**第九回配本(平成十年)**

◎姫路市史第七卷 上 資料編 自然 A5判 四四五頁
 気候 地質 地形 土壌 植生・海藻 都市地域構造 街道
 付図(別箱) 姫路市地形・地質図 姫路市農耕地・林地土壌図 姫路市現存植生図 姫路市土地利用図
 額価 五、六〇〇円 送料 五〇〇円

●**第十回配本(平成十一年)**

◎姫路市史第十一卷 下 史料編 近世3 A5判 九三二頁
 6 藩政史料 7 町方史料 8 村方史料 9 文芸・教育・宗教 10 幕末期の政情 補遺
 付図(別箱) 姫路城内曲輪絵図(二次本多時代) 姫路城下町絵図(二次本多時代)
 額価 五、七〇〇円 送料 五〇〇円

●**第十一回配本(平成十二年)**
◎姫路市史第十五卷 下 別編 文化財編2 A5判 八〇六頁
 寺院 神社 武家屋敷・民家 町家と町並み 近代建築
 付図(別箱) 播磨姫路園(二次本多時代) 市史掲載建築物分布地図
 額価 五、三〇〇円 送料 五〇〇円

●**第十二回配本(平成十二年)**

◎姫路市史第五卷 上 本編 近現代1 A5判 八〇七頁
 明治維新と姫路1 廃藩置県 2 行政機構の変遷 3 維新期の経済改革 4 教育制度の改革
 5 殖産興業政策下の経済 6 社会生活と文化 7 自由民権運動
 姫路市政の成立と展開1 姫路市の成立 2 日清・日露戦争期と姫路 3 産業革命期の経済 4 教育と文化
 額価 五、〇〇〇円 送料 五〇〇円

第十三回配本 第一卷 上 購読申込について

・本の体裁 A5判、本文五九六頁、上製本、中性高質紙使用
 ・目次
 装丁用織物表紙 貼函入
 姫路市とその周辺の地質(後藤博彌)
 1 姫路の地質が作られる前に 2 姫路市付近の地質
 3 姫路市の基盤 4 古生代の姫路
 中生代・新生代(第三紀)の姫路(後藤博彌・井土剛二)
 1 三畳紀・ジュラ紀の姫路 2 白亜紀前期の姫路
 3 白亜紀後期の姫路 4 新生代(第三紀)の姫路
 播磨の起伏の成立(田中眞吾)
 1 播磨とそれをとりまく起伏 2 東播磨の丘陵・台地
 第四紀に作られた播磨とその周辺の地形(田中眞吾)
 1 播磨の大地の自然界を支配した原理・原則
 2 第四紀に播磨とその周辺に作られた地形
 姫路市とその周辺の地形(田中眞吾)
 1 市川流域の地形 2 夢前川・菅生川・大津茂川流域の地形
 3 揖保川流域の地形 4 播磨平野の地形
 3 自然史の鼓動の中の姫路(田中眞吾)
 1 古い脈動を語る播磨の基盤岩 2 新しい鼓動を語る播磨の地形
 3 大地の動き・年代を語る播磨の地形 4 播磨の大地の傾動運動のまとめ
 地誌(成瀬敏郎・南埜猛・田中智彦)
 1 姫路市の地域構造 2 各流域の地誌
 絵図にみる景観(久武哲也)
 1 山の景観 2 村里の景観 3 川と海辺の景観

・頒価 五、〇〇〇円 送料五〇〇円
 ・発売予定 平成十三年十月
 ・頒布方法 直接購入希望の方は、城内図書館 史料整理室、
 市政情報センター(市役所1階)でお求めください。
 ・申込先 城内図書館 史料整理室

〒六七〇一〇〇二 姫路市本町六八二五八(日本城郭研究センター内)
 電話(〇七九二) 八九一四八八六(FAX 八九一四八九一)